

交通バリアフリー教室 in 水戸市立国田義務教育学校

茨城運輸支局では、令和6年9月24日（火）に水戸市立国田義務教育学校の6年生15名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年9月24日（火）9:30～11:00
- 場 所：水戸市立国田義務教育学校
- 参加者：6年生 15名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ

参加者の感想

- ・車いすは下がるときも上るときも怖かった。かなり大変だと感じた
- ・介助する人はこれだけ大変なんだと実感した
- ・積極的に手伝うことが必要と思った
- ・一人だと大変だから手伝ってくれると安心感がある
- ・今まではどう手伝えればいいのか分からなかったけど、これからは自分からできるようにしたい
- ・障がいのある方や高齢の方がいたら「お手伝いしましょうか？」と声をかけて手伝ってあげる
- ・高齢者体験ではこんなにも曲がらないんだなと実感した
- ・実際に困っている人がいたら助けてあげたい
- ・声かけ、助け合いで心のバリアフリーが広がっていく。みんなが笑顔になる。